

北病棟へ入院中の患者様・ご家族・後見人の皆様へ
～診療情報の医学研究への使用のお願い～

【研究課題名】 強度行動障害をもつ児・者の生活の質（Quality of life）に関する研究

【研究機関】 2025年1月～2028年3月

【研究の対象】 この研究は当院北病棟1階・2階に入院中で、強度行動障害を認めている患者様を対象としています。

【研究の目的】

当院は国立病院機構重症心身障害児・者病棟の一つであり、強度行動障害をもつ人のための専門的治療を行っています。強度行動障害をもつ人達への支援を向上させるため、従来は行動障害をどうやって少なくするかに焦点があたりがちでした。しかし、本来は本人の視点にたつて、生活の質（Quality of Life、以下QOL）が高まることが重要です。知的障害をもつ人たちは自分の意思を表出することが難しく、既存のQOL尺度ではQOLをはかることができません。そのため当院に入院中の患者様のQOLをはかることができる尺度の作成、それに伴う支援の在り方について研究を行います。

【使用させていただく情報】

2025年1月31日現在、当院北病棟1階・2階に入院中で、強度行動障害をもつ方において、患者様の基本情報（年齢・性別・基礎疾患・合併症）、強度行動障害の関連スコア、QOL尺度のスコア、治療内容（薬物療法、心理社会的治療）

【倫理的な検討】

本研究の倫理審査は、国立病院機構菊池病院の倫理審査委員会において、厳正に審査され承認を受けております。研究で扱う情報については、国の定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に従い、特定の個人が識別できないように管理します。また個人情報保護法などの法律を遵守しますので、患者様のプライバシーは守られます。

【使用させていただく情報の保存等について】

診療情報は学会・論文発表後5年間の保存期間を基本として、その終了後はデータの削除、廃棄を行う。

【患者様・ご家族・後見人様の負担】

本研究は、患者様の状態を観察して情報を集めるものであり、患者様に対して新たに負担や侵襲が加わることはありません。ご家族や後見人様に対しても経済的ご負担は発生しません。

【研究資金】

研究費の提供は受けておりません。

【利益相反について】

特定の企業からの資金は受けておりません。

【研究の参加等について】

本研究に診療情報を使用してほしくない場合は下記までお知らせください。その場合は患者様の診療情報は研究対象から除外いたします。また、ご協力いただけない場合でも、患者様の不利益になることは一切ございません。なお、研究結果は学会発表、論文発表を計画しておりますが、発表後に参加拒否を表明された場合でも、発表や論文等を取り下げることはありません。

【研究組織】

研究代表者 国立病院機構 菊池病院 田中恭子

【お問い合わせについて】

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問合せください。

国立病院機構 菊池病院 精神科医師 田中恭子（096-248-2111）